

令和4年度 喜来幼稚園評価について

令和4年度の幼稚園評価を行うにあたり、職員・保護者にアンケートを実施しました。職員のアンケート結果を基にして、保護者のアンケート結果を重ね合わせて幼稚園評価を行い、本年度の重点目標の達成状況と来年度に向けての課題を明らかにしました。

○ 本年度の重点目標 「様々な体験や人とのかかわりを通して心豊かで元気な子どもを育てる」

○ 評価結果の表示について

A 十分達成できている（積極的肯定90%以上） B ほぼ達成できている（肯定的評価75%以上）

C あまり達成できていない（肯定的評価50%以上） D 達成できていない（肯定的評価50%未満）

※ 数字(%)は、肯定的評価：「あてはまる」+「どちらかといえばあてはまる」を表します。

本年度の重点目標の達成状況を確認するために、実践事項である（1）健康な心と体づくり（2）魅力ある幼稚園（3）認め合える仲間づくり（4）地域・家庭との連携（5）安全教育の実践の5つの事項にかかわる項目について、職員と保護者にアンケートを実施し、保育を振り返り、項目ごとに評価を行いました。

○ 実践事項

（1）健康な心と体づくり

〈職員〉

- ① 幼児は、基本的な生活習慣が身についてきた。100%
- ② 遊びや園外保育を通して、幼児の体力は向上している。100%
- ③ 食育活動を通して、幼児の食に関する興味関心は高まっている。100%

（保護者アンケートより）

- ・ 早寝早起きができている。91%
- ・ 毎朝、必ず朝食をとっている。97%
- ・ 幼稚園は、遊びを通して体力作りに努めている。100%
- ・ 幼稚園は、子どもの栽培活動や収穫などを通して食への関心・意欲を育てている。100%

保護者・職員ともに、「体力作り」の項目で、昨年度より高い評価を得ることができました。それ以外の項目についても概ね昨年度より評価が高く、生活リズムが整っていることや、家庭生活も幼稚園生活もともに安定していることが伺えます。また、幼稚園では裏庭も開放することで、新しい空間や遊具の中で、体の使い方に変化をもたらせたことも一要因だと考えます。今後も、幼稚園としての役割を十分に果たし、家庭と幼稚園の連携を深め、生活習慣の形成努めていきます。

以上のことから（1）健康な心と体づくりについては【A】と判断しました。

（2）魅力ある幼稚園

〈職員〉

- ① 幼児の五感に働きかける保育環境を構成したり意欲を引き出したりするかわりができた。100%
- ② 幼児は園生活を通して、主体的に活動できるようになってきた。100%

③ 季節を感じられるような保育を展開し、幼児は園生活の中で、身近な自然に親しむことができた。100%
(保護者アンケートより)

- ・ 子どもは、幼稚園に行くのを楽しみにしている。100%
- ・ 子どもは、幼稚園の出来事や、先生や友達のことをよく話す。91%
- ・ 幼稚園は、様々な行事を通して、特色ある園づくりに努めている。100%
- ・ 幼稚園は、子どもの主体的な体験活動を大切にしている。97%

コロナ禍ではありましたが、少しずつ行事の再開をすることができました。日々の生活において、教育的ねらいを精査したことや、そのための方法を見直したことが要因の1つと考えます。また、クラスだよりはもちろん、HPや町広報誌でも広く紹介できたことが、保護者アンケートの全項目で高い評価につながったと考えます。今後もさらに魅力ある幼稚園をめざして、柔軟に、そして計画的に取り組み、家庭や地域につなげられるように努めます。

以上のことから(2)魅力ある幼稚園は【A】と判断しました。

(3)認め合える仲間づくり

〈職員〉

- ① 幼児を温かく受け止め、一人一人に応じた指導ができた。100%
- ② 幼児は、人を思いやる心や友達の良さを認め合う気持ちが育ってきた。100%
- ③ 幼児は、人の話を聞いたり自分の気持ちを伝えたりする力が育ってきた。78%

(保護者アンケートより)

- ・ 子どもは、人の話を聞いたり、自分の思いを伝えたりする力が身につけてきている。94%
- ・ 友達とのかかわりの中で、人を思いやる力が育ってきている。97%
- ・ 教師は、子どもを温かく受け止め、一人ひとりに応じた指導ができています。97%

保護者アンケートの結果は、昨年度より全項目で増加しましたが、職員アンケートでは「幼児の、人の話を聞いたり自分の気持ちを伝えたりする力」の項目で減少しました。「自分の気持ちを伝える力」は育っていますが、「人の話を聞く」という部分で、もう少し伸びしろがあるのではと感じました。また、クラスの園児数としては少し規模が小さいため、言わなくても通じ合える部分もあったと思われます。今後は、幼児の思いを十分に引き出し、仲間とつながり合える保育に努めます。

以上のことから(3)認め合える仲間づくりは【B】と判断しました。

(4)地域・家庭との連携

〈職員〉

- ① 地域との交流や連携を積極的に行ってきた。89%
- ② 保護者との連携を密にした保育が展開できた。100%
- ③ 保護者から寄せられた意見・要望の対応や、子育てに関する支援や対応を行ってきた。100%

(保護者アンケートより)

- ・ お便りや保育参観、懇談などを通して、園の取り組みや幼児の様子を知ることができた。100%
- ・ 幼稚園は、地域との交流や連携を積極的に行っている。100%
- ・ 子育て相談がしやすい開かれた幼稚園である。100%

「地域との交流や連携」の項目では、保護者も職員も昨年度と比べると増加しました。その要因として、行事や園外

活動等で地域に出かける機会も多く、様々な体験ができたことが結果につながったと考えられます。また、保護者の方から「子育ての相談がしやすい」項目で高い評価をいただいたことは、職員一同感謝の気持ちでいっぱいです。今後も、保護者の方に寄り添い、お子様の成長を共に喜び合える保育に努めます。

以上のことから(4)地域・家庭との連携は【B】と判断しました。

(5)安全教育の実践

〈職員〉

- ① 避難訓練(自然災害、不審者対応含む)交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している。89%
- ② 職員の災害に対する意識や能力は、向上してきた。100%
- ③ 幼児の災害や交通安全に対する意識や能力は、向上してきた。100%

(保護者アンケートより)

- ・ 子どもは、安全に対する意識が育ってきている。97%
- ・ 幼稚園は、子どもの安全を考えた防災、防犯活動ができています。100%

全項目において、昨年度の結果に比べ高い評価が見られました。幼小合同訓練では、小学生の姿を通して避難の大切さを学び、幼稚園単独の訓練では一時避難の行動の取り方を繰り返し行ったりし、そのことが評価につながっているかと思われます。今後も引き続き、多様な訓練を行う必要があります。

以上のことから(5)安全教育の実践は【B】と判断しました。

○ 評価

実践事項

- (1)健康な心と身体づくり【A】 (2)魅力ある幼稚園【A】 (3)認め合える仲間づくり【B】
- (4)地域・家庭との連携【B】 (5) 安全教育の実践【B】

重点目標

実践項目の評価より、本年度の重点目標「様々な体験や人とのかかわりを通して心豊かで元気な子どもを育てる」は【B】(ほぼ達成できた)と判断しました。

○ 次年度への課題

- (1)保育内容の充実と環境構成(思考力の芽生え・体力の向上)
- (2)一人一人の良さを認め合える人間関係の構築(聞く力・伝える力の育成)
- (3)家庭・園・地域との連携(情報発信・社会生活との関わり)
- (4)災害対応力の向上と防犯対策(様々な状況を想定した訓練の実施)
- (5)地域と連携した保育計画(豊かな体験・自然との関わり)